

## 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	5月
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定め た日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告を行うことができない事故その他 やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に 掲載いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 電話お問合せ先	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店

## 株式会社テイツー

IR窓口:東京都港区芝公園二丁目4番1号 芝パークビルA館8F  
TEL (03)5408-5532 メールアドレスir@tay2.co.jp

インターネットホームページ <http://www.tay2.co.jp>

## 株主の皆様へ

### 第21期報告書

(2010年3月1日～2011年2月28日)

株式会社テイツー

## もっとお客様に近く、店舗運営を大切にして 「お客様の満足」を創ってまいります。

代表取締役社長 堀 久志

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、2011年3月11日に発生した東日本大震災により、被災された皆様の無事を心よりお祈りいたしますと共に、犠牲になられた方々及びご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

はじめに、2011年5月25日に開催された定時株主総会後の取締役会において、当社の代表取締役社長に就任しましたことをご報告いたします。

私は、当社創業間もない1993年に入社し、一店舗社員から当社のキャリアを始めて現在に至っております。今般、代表取締役社長の任に就くにあたり、私自身の当社入社当時の原点に今一度立ち返り、「お客様の満足を創る」という視点に立って、お客様にもっと近く、店舗を大切にして経営を担っていきたく思います。

現在、当社を取巻く環境は非常に厳しいものであります。昨年来、政府の景気刺激策の効果もあり、ようやく薄日が差してきた日本経済でしたが、3月11日の東日本大震災により消費マインドは一気に冷え込み、その後の社会インフラの回復の遅れにより、経済は混乱と低迷から完全に脱するまでには、更なる困難が待ち受けております。また、社内に目を向ければ、ここ数年に出店をした店舗の収益貢献が弱く、更には店舗オペレーションの業務効率化が不十分であったことは否定できず、反省すべき点が少なくありません。

私は、代表取締役としてこれらの反省点を踏まえて、まずは、「等身大で着実な経営基盤固め」を行い、経営の原点に立ち返って、「長期継続的成長の実現」のために、足元を固めたいと考えております。そのために、タイムリーかつ効率的な経営のための組織体制の刷新と指揮命令系統の明確化、出店戦略の抜本的な見直しに加え、仕事の目的意識を明確にするメリハリのある評価基準の導入や、スタッフの能力向上と社員の適正な配置等により店舗効率の最大化を進める計画であります。

同時に、このような基盤固めに一定の成果が見られた段階で、すみやかに次なる成長基調に移行出来るように、当社が20年に渡って培ったノウハウや、相対的にアドバンテージを取れるものは何かについて、代表取締役社長という新たなポジションで大局的に見極めていきたいと考えております。

株主・投資家の皆様におかれましては、これからも変らぬご支援をお願い申し上げます。

### 前期の業績、今後の見通しについて

2011年2月期には、厳しい経済環境による消費環境の冷え込みにより、連結売上高は396億8千9百万円（前期比5.0%減）、連結営業利益は8億9千2百万円（前期比26.0%減）、連結経常利益は8億7千万円（前期比22.6%減）となりました。また、前期にあった子会社合併に伴う被合併会社の繰越欠損金を引継ぐことによる税額の減少及び税効果会計等の影響の反動もあり、連結当期純利益は3億8千7百万円（前期比47.7%減）となりました。

今後のわが国経済につきましては、米国経済の低迷などを背景に円高への懸念や経済対策打切りによる反動で、先行きに不透明感は続くものと思われまます。当社の属する小売サービス業におきましても、雇用環境の改善が見込まれないことによる消費マインドの低迷を背景として個人消費の回復は見込み難く、厳しい経営環境が続くものと考えております。加えて、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響による当社取扱い商品やサービスの需要動向など、今後の業績に影響を与える経営環境の見通しはきわめて不透明であります。

こうした環境の下、当社といたしましては、中期的な成長戦略の基本的な考え方として「人材育成と生産性の向上」、「中核事業の再構築」、「新規事業・新規市場の創出」の3つの方向性を基軸として、当社の成長を実現すべく努力してまいります。

古本市場店舗運営におきましては、より一層のコスト管理と、効率的な店舗オペレーション、新入社員及びスタッフの早期戦力化に向けて努力してまいります。なお、商材別マクロ市場の動きに合わせた販売戦略の展開による売上拡大や、既存店舗のスクラップ&ビルドを積極的に検討してまいります。なお、アイ・カフェ店舗業務の効率化、費用の徹底的見直しによるコスト削減を引続き行い、利益確保に努めてまいります。

以上の結果、2012年2月期の売上高は、390億円（前期比0.3%増）、営業利益は8億7千万円（前期比2.7%減）、経常利益は8億3千万円（前期比5.5%減）を見込んでおります。なお、会計基準の変更による資産除去債務3億3千7百万円を特別損失に計上することにより、当期純利益は2億円（前期比48.9%減）を見込んでおります。

※東日本大震災による直接的な損害は軽微ですが、今後予想される電力供給の制約等を含む社会インフラの不安定及び消費動向の変化が当社の業績に与える影響は現時点で不明です。当社の業績への影響が見込まれる場合は速やかに開示いたします。

※連結子会社であるインターピア株式会社が2011年3月から連結の範囲から除外されることとなったため、2012年2月期からは単体決算となります。



代表取締役社長  
堀 久志

## Sales Activities

### 営業の概要

2011年2月期につきましては、日本国内の個人消費の低迷の影響で新品ゲームの売上が前期に及ばなかったことやリサイクル品売上の伸び悩みにより、連結売上高は396億8千9百万円（前期比5.0%減）となりました。利益の面では、連結売上高の減少に加え、新規出店による初期費用発生等により、連結営業利益は8億9千2百万円（前期比26.0%減）、連結経常利益は8億7千万円（前期比22.6%減）となりました。また、連結経常利益の減少に加え、前期にあった子会社合併に伴う被合併会社の繰越欠損金を引継ぐことによる税額の減少及び税効果会計等の影響の反動により、連結当期純利益は3億8千7百万円（前期比47.7%減）となりました。

#### 古本市場事業

古本市場事業におきましては、一部の店舗において大規模な店舗改装を行うなど店舗競争力の強化に努めてまいりました。また、新規出店といたしまして、古本市場名谷駅前店（兵庫県）、古本市場庄内店（大阪府）、古本市場梅島駅前店（東京都）、古本市場柏豊四季店（千葉県）、古本市場緑橋店（大阪府）の出店を行いました。

しかしながら、新品ゲームの売上が前期に及ばなかったことに加え、新店出店による初期費用発生等により、当連結会計年度における古本市場事業の売上高は366億6千1百万円（前期比5.3%減）、営業利益は17億8千6百万円（前期比17.3%減）となりました。

#### アイ・カフェ事業

アイ・カフェ事業におきましては、有料コンテンツの料金を店舗利用料と一緒に支払うことができるネットカフェ決済システム「Chariot（チャリオット）」を直営店全店に導入するなど、顧客サービスの強化に取組みまし



た。

しかしながら、個人消費低迷の影響で客数の維持が難しい状況が続いたことから、当連結会計年度におけるアイ・カフェ事業の売上高は25億3千4百万円（前期比5.3%減）となりました。一方、利益の面では業務の効率化により人件費等のコントロールに努めた結果、営業利益は6千2百万円（前期比78.8%増）と黒字で推移いたしました。

#### EC事業

EC事業におきましては、新品ゲーム予約でのポイント2倍還元や期間限定の特価販売など各種販促活動の実施による売上拡大を図ったほか、マーケットプレイスでの販売強化に努めてまいりました。こうした取組みにより当期連結会計年度におけるEC事業の売上高は5億5千7百万円（前期比21.0%増）、営業利益は4千1百万円（前期は営業損失2千8百万円）と黒字転換いたしました。

※事業の種類別セグメント情報は10ページをご参照ください。

## 【新規出店】

ドミナントエリアにおける更なる知名度とシェアの向上を目指し、2011年2月期には古本市場名谷駅前店（兵庫県）、古本市場庄内店（大阪府）、古本市場梅島駅前店（東京都）、古本市場柏豊四季店（千葉県）、古本市場緑橋店（大阪府）の計5店舗を出店いたしました。

2012年2月期におきましては、今までの出店戦略を根本的に見直し、既存店舗のスクラップ&ビルドを積極的に検討すると同時に、収益性を最優先する厳選出店を行い、売上増加及び中長期的な収益性改善に努めてまいります。



古本市場 庄内店



古本市場 名谷駅前店



古本市場 梅島駅前店



古本市場 柏豊四季店

## 【漫画アプリ大賞を創設】

現在、スマートフォンやタッチパネル式のネット端末の登場、そしてそれらの上で配信されるアプリの課金システムが整ったことで、電子書籍市場がにわかに脚光を浴びています。既存の雑誌や書籍などの一部が電子書籍として販売されつつある中で、当社は既存の作品を電子書籍化するだけでなく、「コンテンツの発行の市場を広げていく」ことを念頭に置き、「漫画アプリ大賞」を創設いたしました。

「漫画アプリ大賞」は、プロ、アマ問わず、商業誌等に未発表の漫画作品を公募し、大賞を決定する企画です。応募作品の中から、選考委員の一次審査で優秀な作品を5点選出し、iPhone、iPadなどに対応した漫画アプリとして世界に配信いたします。そのダウンロード数や評価のランク、ならびに選考委員の厳正な審査によって、大賞などの各賞を決定いたします。

当社は今後も既存事業と相乗効果を期待する分野への投資等により、認知度向上及び企業価値向上に努めてまいります。



## 【東日本大震災に関する当社関連速報】

2011年3月11日に発生いたしました東日本大震災につきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社の人的被害につきましては、幸いなことに当社が運営している古本市場、ブック・スクウェア、アイ・カフェ等の店舗におきまして、死亡者、行方不明者及び怪我人は報告されておりません。

店舗の営業状況につきましては、地震直後から東北にあるアイ・カフェ3店舗、関東の1店舗の営業を停止しましたが、東北の3店舗につきましては4月上旬に営業を再開しております。なお、関東地方の古本市場及びアイ・カフェの一部の店舗におきましては、計画停電の実施により営業時間の短縮等柔軟な運営を行っております。

今夏も電力供給の制約等により、お客様にご不便をおかけする可能性があります。業績に与える影響は現時点では不明ですが、当社の業績への影響が見込まれる場合は速やかに開示いたします。

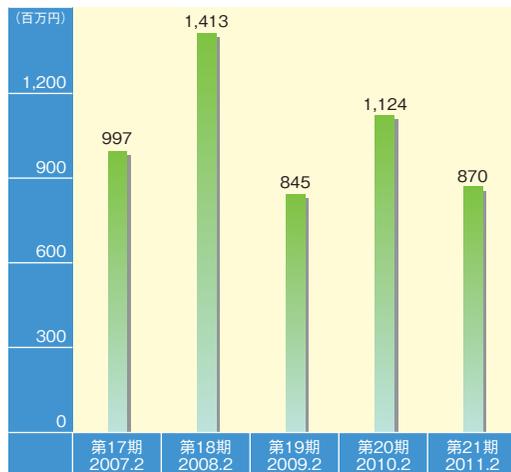
# Financial Highlight

## 財務データ (連結)

### 売上高



### 経常利益



### 総資産



### 純資産



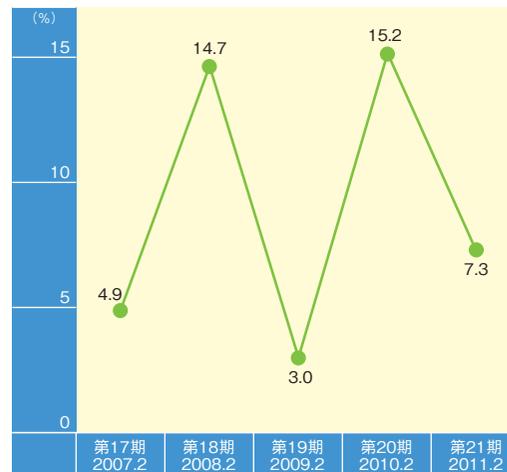
### 当期純利益



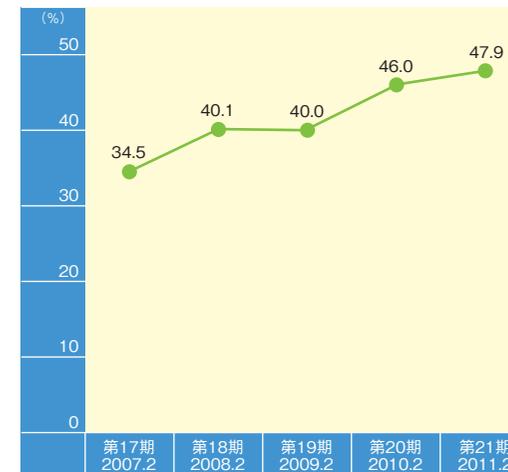
### 売上高営業利益率



### 自己資本利益率 (ROE)



### 自己資本比率



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年2月28日現在)	前期 (2010年2月28日現在)	科目	当期 (2011年2月28日現在)	前期 (2010年2月28日現在)
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
流動資産	6,149	5,780	流動負債	3,627	3,966
現金及び預金	1,576	1,099	買掛金	1,480	995
商品	3,506	3,660	短期借入金	—	600
繰延税金資産	217	237	1年内返済予定長期借入金	725	867
その他	849	782	未払金	384	427
固定資産	5,174	5,554	未払法人税等	265	115
有形固定資産	1,897	2,222	ポイント引当金	278	277
建物及び構築物	1,064	1,191	その他	492	682
土地	242	242	固定負債	2,161	2,050
その他	590	788	長期借入金	1,353	1,189
無形固定資産	278	340	その他	807	860
ソフトウェア	265	324	負債合計	5,788	6,016
その他	12	16	<b>【純資産の部】</b>		
投資その他の資産	2,997	2,991	株主資本	5,426	5,209
投資有価証券	79	84	資本金	1,165	1,165
長期貸付金	412	469	資本剰余金	1,119	1,119
繰延税金資産	788	735	利益剰余金	3,390	3,169
差入保証金	1,598	1,551	自己株式	△249	△244
その他	119	150	評価・換算差額等	△1	0
			その他有価証券評価差額金	△2	△0
			為替換算調整勘定	0	0
			新株予約権	28	27
			少数株主持分	80	81
			純資産合計	5,534	5,318
資産合計	11,323	11,335	負債純資産合計	11,323	11,335

## ポイント解説 1

利益確保及び借金返済により、自己資本比率が上昇しました。  
(前期末46.0%→当期末47.9%)

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2010年3月1日から 2011年2月28日まで)	前期 (2009年3月1日から 2010年2月28日まで)
売上高	39,689	41,760
売上原価	29,500	31,169
売上総利益	10,189	10,591
販売費及び一般管理費	9,296	9,384
営業利益	892	1,206
営業外収益	68	86
受取利息及び受取配当金	6	5
その他	62	80
営業外費用	90	167
支払利息	51	62
その他	39	105
経常利益	870	1,124
特別利益	15	29
特別損失	147	532
税金等調整前当期純利益	738	622
法人税、住民税及び事業税	382	265
法人税等調整額	△31	△382
少数株主損失	△0	△2
当期純利益	387	741

## ポイント解説 2

厳しい経営環境による消費の冷え込みにより、前期比で売上高及び営業利益、経常利益は減少しました。

## ポイント解説 3

前期にあった子会社合併に伴う繰越欠損金を引き継ぐことによる税額の減少及び税効果会計等の影響の反動もあり、当期純利益は大きく減少しました。

## 事業の種類別セグメント情報

当期 (2010年3月1日から2011年2月28日まで) (単位:百万円)

	古本事業	アイ・カフェ	EC事業	法人税	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	36,659	2,524	505	—	39,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	9	51	△63	—
計	36,661	2,534	557	△63	39,689
営業費用	34,875	2,471	515	933	38,797
営業利益	1,786	62	41	△997	892

前期 (2009年3月1日から2010年2月28日まで) (単位:百万円)

	古本事業	アイ・カフェ	EC事業	法人税	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	38,694	2,658	407	—	41,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	16	53	△74	—
計	38,699	2,675	460	△74	41,760
営業費用	36,538	2,640	488	887	40,554
営業利益	2,160	35	△28	△961	1,206

## ポイント解説 4

合併効果及び経費圧縮などの業務効率化もあり、アイ・カフェ事業及びEC事業は黒字を達成しました。

Financial Data

連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2010年3月1日から 2011年2月28日まで)	前期 (2009年3月1日から 2010年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,790	1,461
税金等調整前当期純利益	738	622
減価償却費	610	672
その他営業活動による増減額	736	424
小計	2,084	1,719
法人税等の支払額	△242	△228
その他	△51	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340	△325
有形固定資産の取得・売却による収支	△173	△199
無形固定資産の取得による収支	△150	△170
差入保証金の差入・回収による収支	△4	39
その他	△11	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△973	△1,428
短期借入金の純増減額	△600	△90
長期借入金の借入・返済による収支	22	△972
その他	△395	△366
現金及び現金同等物の増加額	476	△291
現金及び現金同等物の期首残高	1,016	1,308
現金及び現金同等物の期末残高	1,492	1,016

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (2010年3月1日から2011年2月28日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整差額			
2010年2月28日残高	1,165	1,119	3,169	△244	5,209	△0	0	27	81	5,318
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△165	—	△165	—	—	—	—	△165
当期純利益	—	—	387	—	387	—	—	—	—	387
自己株式の取得	—	—	—	△4	△4	—	—	—	—	△4
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1	—	0	△0	△1
連結会計年度中の変動額合計	—	—	221	△4	217	△1	—	0	△0	215
2011年2月28日残高	1,165	1,119	3,390	△249	5,426	△2	0	28	80	5,534

Financial Data

財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年2月28日現在)	前期 (2010年2月28日現在)
【資産の部】		
流動資産	5,962	5,546
現金及び預金	1,452	968
商品	3,502	3,659
その他	1,007	918
固定資産	5,294	5,670
有形固定資産	1,893	2,217
建物	939	1,051
その他	954	1,165
無形固定資産	278	333
投資その他の資産	3,123	3,120
差入保証金	1,581	1,538
その他	1,541	1,582
資産合計	11,257	11,217
【負債の部】		
流動負債	3,578	3,869
買掛金	1,438	899
短期借入金	—	600
1年内返済予定長期借入金	725	867
その他	1,414	1,501
固定負債	2,159	2,048
長期借入金	1,353	1,189
その他	805	859
負債合計	5,738	5,918
【純資産の部】		
株主資本	5,493	5,272
資本金	1,165	1,165
資本剰余金	1,119	1,119
資本準備金	1,119	1,119
利益剰余金	3,456	3,231
自己株式	△249	△244
評価・換算差額等	△2	△0
その他有価証券評価差額金	△2	△0
新株予約権	28	27
純資産合計	5,519	5,299
負債純資産合計	11,257	11,217

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2010年3月1日から 2011年2月28日まで)	前期 (2009年3月1日から 2010年2月28日まで)
売上高	38,897	39,781
売上原価	28,933	29,709
売上総利益	9,963	10,072
販売費及び一般管理費	9,069	8,894
営業利益	894	1,178
営業外収益	68	85
営業外費用	84	155
経常利益	878	1,109
特別利益	15	15
特別損失	151	499
税引前当期純利益	742	625
法人税、住民税及び事業税	382	261
法人税等調整額	△31	△348
当期純利益	391	712

## Stock Information

### 株式の状況 / 会社の概要

#### 株式の状況 (2011年2月28日現在)

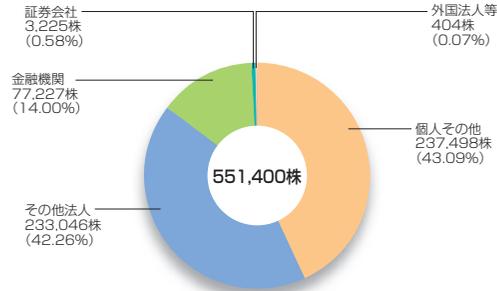
■ 発行可能株式総数	2,000,000株
■ 発行済株式の総数	551,400株
■ 株主数	5,923名

#### 大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	110,637 株	20.06 %
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	77,601	14.07
株式会社山陰合同銀行	21,000	3.80
ティーツー従業員持株会	17,324	3.14
大橋 康宏	11,015	1.99
株式会社中国銀行	11,000	1.99
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.81
株式会社みずほ銀行	10,000	1.81
株式会社トマト銀行	8,000	1.45
株式会社アイシーピー	7,300	1.32

(注) 当社は自己株式33,652株を保有しておりますが、表記していません。

#### 所有者別株式分布状況



#### 会社の概要 (2011年2月28日現在)

商号	株式会社ティーツー
英訳名	TAY TWO CO.,LTD.
店舗名	古本市場、ふる1、アイ・カフェ、ブック・スクウェア、Family Mart
創業	1989年10月
設立	1990年4月
本社	岡山県岡山市北区今村650番111 TEL (086) 243-8600
東京本部	東京都港区芝公園二丁目4番1号 芝パークビルA館8F TEL (03) 5408-5100
代表者	代表取締役社長 堀 久志
資本金	1,165,507千円
従業員数	450名 パート・アルバイト1,695名

#### 主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、DVD、CD等の販売・買取

及びビデオレンタル業務、アイ・カフェ (インターネット・コミック・カフェ) の運営

Family Mart (コンビニエンスストア) の運営

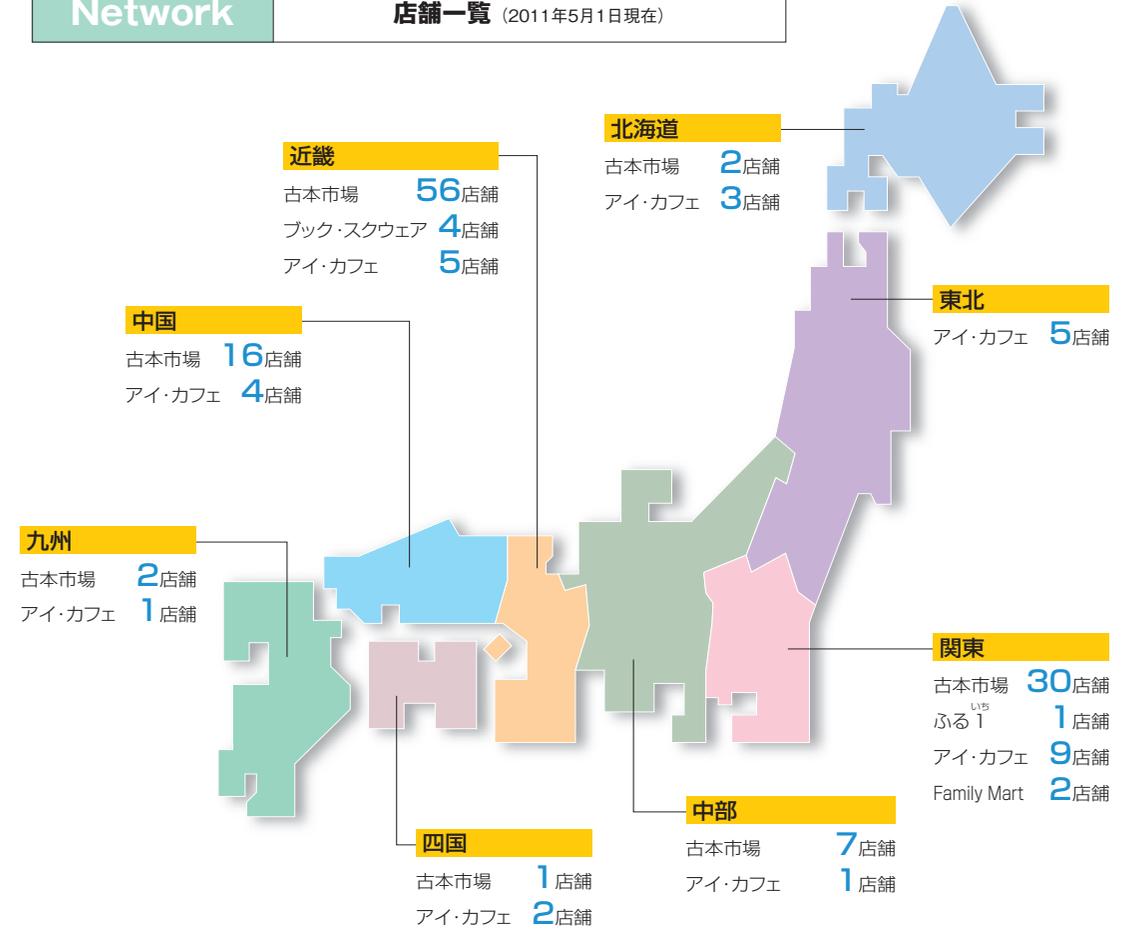
(注) 連結子会社であるインターピア株式会社が2011年3月から連結の範囲から除外されることとなったため、2012年2月期からは単体決算となります。

#### 役員 (2011年5月25日現在)

代表取締役社長	堀 久志
取締役副社長	荒井 薫
取締役	関本 慎治
取締役	寺田 勝宏
取締役相談役	大橋 康宏
取締役(社外)	高橋 誉則
取締役(社外)	大谷 真樹
常勤監査役(社外)	武田 由隆
監査役(社外)	西川 豊
監査役	北村 清人
監査役(社外)	平田 修

## Network

### 店舗一覧 (2011年5月1日現在)



#### 新店舗

##### 古本市場

柏 豊 四 季 店	千葉県柏市豊四季282-7	2010年11月25日オープン
緑 橋 店	大阪府大阪市東成区東今里2-1-4	2010年12月23日オープン

※各店舗の詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.furu1.net/index.html>